生涯教育文献目録 (2000. 1~2000. 12)

日本生涯教育学会

凡例

- (1) 学会員を対象に 2001 年 5 月から 7 月にかけて行った生涯教育文献調査の回答をもとに、2000 年に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。

1	生涯教育一般	7	生涯教育と学校教育 (学校改革・学校開放も含む)
1-a	生涯教育の理念	8	生涯教育と地域社会
1-b	生涯教育の歴史	9	生涯教育と企業内教育
1-c	生涯教育の内容	10	生涯教育と放送・通信教育
1-d	生涯教育の方法	11	生涯教育と関連教育施設 (生涯教育センター・社会教育 センター・公民館・文化センタ ーなど諸施設論を含む)
1-e	自己(管理的)学習論	12	学習情報・相談
1-f	ライフ・サイクル論	13	人材活用
1-g	学習社会論	14	生涯教育と行政施策 (答申・報告書等も含む)
1-h	その他	15	生涯教育の推進事例
2	生涯教育と青少年教育	16	諸外国の生涯教育
3	生涯教育と成人教育 (婦人教育も含む)	17	その他
4	生涯教育と高齢者教育		
5	生涯教育と社会体育・スポーツ		
6	生涯教育と家庭教育		

- (4) 文献は各領域ごとに I~VII に類別した。さらに執筆者(著書, 翻訳者, 編者)を 50 音順とした。
- (5) 記載事項は次のとおりである。
 〈単行本〉①編著者名②書名③発行所名
 〈雑誌・報告書等の論文・記事〉①執筆者名②標題③所収誌名④巻・号
 ⑤発行所名⑥所収頁
- (6) 頁数の表記は次のとおりとした。
 3~5 頁→3-5 頁

1 生涯教育一般

I. 著書

- ・池木 清, 『男女共同参画社会と教育』, 北樹出版
- ・瀬沼克彰, 『21世紀余暇の創造』, 遊戯社, 1-236頁。

II. 編書

- ・蛭田道春, 『新生涯学習概論』, 日常出版, 278頁。

IV. 雑誌論文

- ・今西幸藏, 「地方分権と生涯学習社会」, 『社会教育』第55巻1月号643号, 全日本社会教育連合会, 32-35頁。
- ・山本恒夫, 「事象としての生涯学習」, 『教育学研究集録』第24集, 筑波大学大学院博士課程教育学研究科, 1-6頁。
- ・山本恒夫, 「21世紀の社会とこれからの生涯学習支援の課題」, 『日本生涯教育学会年報』第21号, 日本生涯教育学会, 111-118頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己, 「生涯学習社会へ向けて」, 山根祥雄編著『現代教育の争点』, 八千代出版, 175-189頁。

1-a 生涯教育の理念

II. 編書

- ・西村美東士, 『個が「善く生きる」ための生涯学習』, 社会教育協会, 1-199頁。

1-b 生涯教育の歴史

IV. 雑誌論文

- ・蛭田道春, 「社会教育年表」, 『社会教育』第55巻8月号, 全日本社会教育連合会, 24-27頁。
- ・ブストス・ナサリオ, 「江戸時代の学習機会-その3-」, 『九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター紀要』第5号, 九州共立大学・九州女子大学・九州女子短大, 生涯学習研究センター, 77-85頁。
- ・渡辺典子, 「埼玉県入間郡における豊岡大学と豊岡町主婦会の相関に関わる一考察」, 『教育史再構成の試み-入江宏先生退職記念論集-』, 日本女子大学教育史研究会, 121-139頁。
- ・渡辺典子, 「埼玉県入間郡における豊岡大学の創設過程-地域的背景とのかわりを中心に-」, 『地方教育史研究』21号, 全国地方教育史学会, 27-47頁。

1-c 生涯教育の内容

V. 編纂書論文

- ・前田寿紀, 「生涯発達と学習課題」, 蛭田道春編『新生涯学習概論』, 日常出版, 52-63頁。

1-d 生涯教育の方法

II. 編書

- ・伊藤俊夫, 「学社融合への道」, 伊藤俊夫編『学社融合』, 全日本社会教育連合会, 7-20頁。
- ・田中雅文, 『社会を創る市民大学-生涯学習の新たなフロンティア-』, 玉川大学出版部, 全287頁。

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫, 「生涯学習の広域サービス」, 『生涯学習ぐんま』 No. 26, 群馬県生涯学習センター, 2-3 頁。
- ・今西幸蔵, 「公民館企画 Q and A 青少年教育編『生き物を育てる』」, 『月刊公民館』 No. 523, 第 1 法規, 23-25 頁。
- ・香川正弘, 「中年からの心の豊さの形成, その方法論-読書と寺社めぐり」, 『生涯学習フォーラム』 第 4 巻第 1 号, 紀尾井生涯学習研究会, 162-171 頁。
- ・田中雅文, 「公民館講座の受講者における学習の諸相」, 『日本生涯教育学会年報』 第 21 号, 日本生涯教育学会, 131-146 頁。

V. 編纂書論文

- ・前田寿紀, 「学習成果の活用と評価」, 蛭田道春編『新生涯学習概論』, 日常出版, 94-100 頁。
- ・前田寿紀, 「これからの生涯学習方法の動向」, 蛭田道春編『新生涯学習概論』, 日常出版, 101-106 頁。
- ・山本恒夫, 「遠隔公開講座と学習メニュー方式」, 日本視聴覚教育協会編『「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究」報告書』, 日本視聴覚教育協会, 14-18 頁。

VI. 調査報告

- ・田中雅文, 『市民大学の NPO モデルに関する調査研究-地球市民アカデミアのケース・スタディー-』, 日本女子大学大学院生涯教育学講座, 全 61 頁。

1-e 自己(管理的)学習論

IV. 雑誌論文

- ・石原顕光・吉川美雪・朝倉祝治, 「化学系技術者の自己学習システムの必要性」, 『工学教育』 49(1), 工業教育協会
- ・西村美東士, 「不幸の手紙からの脱却の方法-ネットワーク型活動への転換を」, 『社会教育』 第 55 巻 5 号, 全日本社会教育連合会, 108-109 頁。

1-g 学習社会論

III. 翻訳書

- ・池田秀男訳, K. マンハイム著『自由・権力・民主的計画』復刊, 未来社, 1-533頁。

1-h その他

IV. 雑誌論文

- ・野村佐和子, 「生涯学習援助システムにおけるサブシステム間関係の検討－関係密度の観点から－」, 『日本生涯教育学会論集』21, 日本生涯教育学会, 97-104頁。
- ・野村佐和子, 「生涯学習社会の教育・学習システム理論構築への公理的アプローチ－関係作用素マトリックスの導入を中心に－」, 『教育学系論集』第24巻第2号, 筑波大学教育学系, 49-57頁。
- ・野村佐和子, 「生涯学習社会の教育・学習システムの特性解明のための一般システム・モデル」, 『教育学系論集』第25巻第1号, 筑波大学教育学系, 19-29頁。

V. 編纂書論文

- ・山本恒夫, 「新しい時代に適合した生涯学習のための教育・学習システム」, 日本視聴覚教育協会編『「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究」報告書」, 日本視聴覚教育協会, 9-13頁。

2 生涯教育と青少年教育

I. 著書

- ・中村正之(代表執筆者), 「発達段階に応じた発達課題・人間関係形成・学習内容と遊び活動との関係についての実証的研究(中間まとめ)」, 栃木県総合教育センター『平成11年度紀要』第7号(1), 栃木県総合教育センター,

37-84 頁。

- ・林 幸克,「中学生のボランティア体験の教育的意義についての研究」,『ボランティア学習研究』第1号,日本ボランティア学習協会,51-59頁。
- ・林 幸克,「ボランティア活動実践のための環境整備に関する研究」,『日本生涯教育学会論集』21,日本生涯教育学会,65-72頁。

II. 編書

- ・伊藤俊夫,「ダイジェスト・学社融合」,伊藤俊夫編『学社融合』,全日本社会教育連合会,137-142頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「地域における子どもの教育・学習の支援」,仏研ブックレット『アップ・トゥー・デート』第9号,大集淑徳学園附置長谷川仏教文化研究所,13-23頁。
- ・浅井経子,「地域が支援する子どもの教育と体験学習」,『教育と情報』第502号,第一法規出版,2-5頁。
- ・池田秀男,「社会いたるところを学びの場に～家庭・学校・地域社会の連携～」,『統計の泉』3月号,広島県統計協会,2-12頁。
- ・白木賢信,「青少年の組織キャンプにおける生活技術遂行の特徴」,日本生涯教育学会『日本生涯教育学会論集』21,日本生涯教育学会,29-36頁。
- ・林 幸克,「中学校におけるボランティア体験学習の在り方に関する実証的研究」,『月刊ホームルーム』第25巻第4号,学事出版,36-41頁。
- ・山田 誠,「結婚に関する大学生の意識-アンケート調査結果から-」,『日本生涯教育学会論集』21,日本生涯教育学会,45-52頁。

V. 編纂書論文

- ・西村美東士,「1990年代青少年教育施策と理論の文献分析」,『徳島大学大学開放実践センター紀要』第10巻,徳島大学大学開放実践センター,27-52頁。

VI. 調査報告

- ・金藤ふゆ子,「青少年の生活空間に関する調査」,『生涯学習活動の促進に関する研究開発・報告書－地域における青少年教育のシステム化に関する基礎研究－』,青少年教育研究会,1-18頁。
- ・金藤ふゆ子,「青少年の高齢者に対する意識調査」,『青少年及び高齢者の異世代に対する意識調査報告書』,文部省統計数理研究所内世代間交流活動研究会,28-42頁。
- ・白木賢信,「小中学生のマルチメディア活用と学習」,筑波大学生涯学習学研究室『生涯各期の学習におけるマルチメディア活用に関する調査報告書』,筑波大学生涯学習学研究室,6-15頁。
- ・中村正之,関沢幸夫,大出忠央,「地域活動に関する青年の意識と行動調査」,栃木県総合教育センター『平成11年度紀要』第7号(1),栃木県総合教育センター,1-22頁。

3 生涯教育と成人教育(婦人教育も含む)

I. 著書

- ・今西幸藏・松尾 泉(共著),『素顔の心で－指導用手引』,大阪府市長会事務局,1-16頁。
- ・寺本美久著・福井凱将絵,『幼児のことはをどう育てるか』,釧路短期大学生涯教育センター第1講座「子育てシリーズ」(1),釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会,1-41頁。
- ・橋本 勲,『標茶酪農の歴史考(上)』,釧路短期大学生涯教育センター第5講座「標茶町の歴史」(9),釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会,1-46頁。
- ・三栖達夫,『釧路集治監の人たち』,釧路短期大学生涯教育センター第5講座「標茶町の歴史」(10),釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会,1-50頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子, 「成人の学習行動にみられる多様化と集中に関する研究(2)」, 『淑徳短期大学研究紀要』39号, 淑徳短期大学, 33-44頁。
- ・瀬沼克彰, 「戦後の余暇に関する文献の発行状況」, 『余暇学研究』No3, 日本余暇学会, 89-100頁。
- ・瀬沼克彰, 「余暇を活かした生涯学習」, 『社会教育』5月号, 全日本社会教育連合会, 32-35頁。
- ・瀬沼克彰, 「余暇の充実方法」, 『ライフマップ』平成12年版, 教職員生涯福祉財団, 15-21頁。
- ・瀬沼克彰, 「ボランティア再考-教育・研修の必要性-」, 『三田評論』, 慶応義塾, 54-55頁。
- ・瀬沼克彰, 「娯楽の台頭した大正期」, 『リフレッシュ・ナウ』No39, 勤労者福祉施設協会, 12-15頁。
- ・瀬沼克彰, 「豊かな明治期の余暇」, 『リフレッシュ・ナウ』No38, 勤労者福祉施設協会, 11-14頁。
- ・瀬沼克彰, 「大衆娯楽が普及した昭和前期」, 『リフレッシュ・ナウ』No40, 勤労者福祉施設協会, 2-5頁。
- ・瀬沼克彰, 「江戸の余暇に学ぶ」, 『リフレッシュ・ナウ』No37, 勤労者福祉施設協会, 11-14頁。

VI. 調査報告

- ・柴田彩千子, 「地球市民アカデミア修了生インタビュー調査」, 『市民大学のNPOモデルに関する調査研究-地球市民アカデミアのケース・スタディー-』, 日本女子大学大学院生涯教育学講座, 40-44頁。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習活動の促進に関する研究開発」, 『職業人の学習ニーズの把握に関する調査』, 日本生涯学習総合研究所。

4 生涯教育と高齢者教育

I. 著書

- ・香川正弘監修,『人生80年時代のライフデザイン』,日本評論社,200頁。
- ・瀬沼克彰,『長寿社会の生きがい探し』,大明堂,1-262頁。

IV. 雑誌論文

- ・塩谷久子,「地域社会における高齢者の生涯学習—学習機会への参加と成果—」,『日本生涯教育学会論集』21,日本生涯教育学会,129-136頁。
- ・塩谷久子,「高齢社会を豊かにする学習機会の充実」,『社会教育』第55巻第645号,全日本社会教育連合会,59-61頁。
- ・山本恒夫,「高齢者の学習と健康」,『図書館雑誌』第94巻第9号,日本図書館協会,713-715頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「世界と日本の高齢者の姿」,国立教育会館社会教育研修所『高齢社会と学習』,第一法規出版,15-20頁。
- ・山本恒夫,「高齢者の学習と社会の活性化」,国立教育会館社会教育研修所編『高齢者と学習』,国立教育会館社会教育研修所,30-37頁。

VI. 調査報告

- ・金藤ふゆ子,「高齢者の青少年に対する意識調査」,『青少年及び高齢者の異世代に対する意識調査報告書』,文部省統計数理研究所内世代間交流活動研究会,44-48頁,81-85頁)。
- ・田中雅文,『国際高齢者団体連盟(IFA)第4回国際会議報告書』,(財)全日本社会教育連合会,全56頁。

6 生涯教育と家庭教育

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「しつけの基本を考える」,『家庭教育セミナー』No4, (財)修養団, 10-13頁。

7 生涯教育と学校教育 (学校改革・学校開放も含む)

I. 著書

- ・亀井浩明,『今,教師は子どもに迫れ』,教育出版

II. 編書

- ・高知大学「開かれた学校づくり」研究会,『「開かれた学校づくり」資料集』,高知大学「開かれた学校づくり」研究会,総計498頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「学社融合の実践のすすめ」,『信濃教育』1359号, (社)信濃教育会, 4-13頁。
- ・浅井経子,「問題解決型の学習と学社融合」,『教育研究』1185号,筑波大学付属小学校(社)初等教育研究会, 18-21頁。
- ・池木清,「ジェンダーづけの学校に芽生える変化の兆しを探る」,『女子教育研究』第30号,日本橋女学館短期大学, 1-14頁。
- ・池木清,「児童生徒によるジェンダー汚染の実態と教師の対応」,『女子教育研究』第28号,日本橋女学館短期大学, 1-28頁。
- ・池木清,「男子学生の指摘するジェンダーづけの学校の実態」,『女子教育研究』第30号,日本橋女学館短期大学, 15-25頁。
- ・伊藤俊夫,「地域の中の学校」,『社会教育』No652, (財)全日本社会教育連合会, 8-10頁。
- ・伊藤俊夫,「総合的学習における社会教育施設活用」,『楽しい理科授業』No403, 明治図書, 37-39頁。

- ・伊藤俊夫,「学校の自主点検・自己評価の推進」,『教職研修』No335, 教育開発研究所, 32-35 頁。
- ・今西幸藏,「単位制高等学校の現状と課題に関する考察」,『人間文化研究』第 3 号, 京都学園大学人間文化学会, 45-80 頁。
- ・今野雅裕,「21 世紀の人材育成について」,『ファッション教育 2000』第 1 号, (財)日本ファッション教育振興協会, 21-30 頁。
- ・香川正弘,「大学開放促進のための提言」,『生涯学習活動の促進に関する研究開発』, 文部省, 9-16 頁。
- ・関 貞雄,「生涯教育・学習と学校教育-教育課程編成における資座-」,『神奈川大学 心理・教育研究論集』第 18 号, 神奈川大学教職課程研究室, 5-21 頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習施設としての大学に求められるもの」,『生涯学習空間』No20, ボイックス, 42-47 頁。
- ・土居真一郎・柳田雅明,「養護学校高等部における進路指導とアフターケア」,『高知大学教育実践研究』,高知大学教育学部附属教育実践研究指導センター, 75-83 頁。
- ・田中美子・高橋義雄,「イメージの共有で学校は開く」,『悠』第 17 巻 7 号, ぎょうせい, 11-17 頁。
- ・蛭田道春,「幼稚園と小学校との接続の課題」,『社会教育』第 55 巻 10 月号, 全日本社会教育連合会, 32-36 頁。
- ・堀井啓幸,「『子どもインターンシップ』の実際と効果」,『学校経営』第 45 巻第 5 号, 第一法規, 38-43 頁。
- ・堀井啓幸,「『学校内外の専門的人材の活用』をどう考えてどう具体化していくのか」,『総合教育技術』第 55 巻第 8 号, 小学館, 40-41 頁。
- ・堀井啓幸,「学力問題に関わるデータから教育の課題を問う」,『授業づくりネットワーク』No179, 学事出版, 9-11 頁。
- ・山本恒夫,「学社融合とは何なのか」,『社会教育』No. 307, 福島県教育委員会, 2-3 頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己,「アメリカ 学校教育の改革」, 黒沢惟昭・佐久間孝正編著『世界

の教育改革の思想と現状』, 理想社, 113-133 頁。

- ・浅井経子, 「学社融合事業の課題と鹿沼市への期待」, 鹿沼市教育委員会『学校をつくる地域をつくる—鹿沼発学社融合のススメ—』, 草土文化, 8-10 頁。
- ・浅井経子, 「学社融合の実践のすすめ」, 信濃教育会『生涯学習社会をめざしてともに学びあう地域と学校』, 信濃教育会出版部, 127-138 頁。
- ・浅井経子, 「学校との連携・協力」, 全国公民館連合会『第 11 回生涯学習推進協議会記録』, (社) 全国公民館連合会, 39-54 頁。
- ・五十川隆夫, 「青少年教育施設における学社融合」, 伊藤俊夫編『学社融合』, (財) 全日本社会教育連合会, 45-52 頁。
- ・今野雅裕, 「子どもと学校を考える新たな PTA 協助」, 今野雅裕編書『学校と家庭・地域の架け橋 PTA』, (社) 日本 PTA 全国協議会, 2-11 頁。
- ・今野雅裕, 「職場体験協助への支援」, 今野雅裕編書『学校と家庭・地域の架け橋 PTA』, (社) 日本 PTA 全国協議会, 24-30 頁。
- ・今野雅裕, 「学校開放の推進」, 今野雅裕編書『学校と家庭・地域の架け橋 PTA』, (社) 日本 PTA 全国協議会, 58-66 頁。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習と私学の役割」, 『研究部要録』11 年版, 神奈川県私立中学高校協会, 134-140 頁。
- ・西村美東士, 「ワークショップ型授業の構成要素とその効果」, 『大学教育学会誌』, 大学教育学会, 194-202 頁。
- ・堀井啓幸, 「学校開放事業の現状と課題—教育学習資源としての学校—」, 日本教育経営学会編『生涯学習社会における教育経営』, 玉川大学出版, 159-178 頁。
- ・堀井啓幸, 「保護者・地域社会と学校」, 大塚学校経営研究会編『現代学校経営論』, 大塚学校経営研究会, 185-193 頁。
- ・前田寿紀, 「生涯学習と大学」, 蛭田道春編『新生涯学習概論』, 日常出版, 42-46 頁。
- ・前田寿紀, 「学校教育と社会教育の連携・融合」, 蛭田道春編『新生涯学習概論』, 日常出版, 47-50 頁。

VI. 調査報告

- ・赤尾勝己,「アメリカー高校訪問調査よりー」,『子どもの心身の発達に関する調査研究』第1次報告,国立教育研究所,107-109頁。
- ・浅井経子,「『学社融合』の展開としくみづくり」,栃木県教育委員会『「学社融合」をすすめようー社会教育から学校教育へのはたらきかけー」,栃木県教育委員会,26-28頁。
- ・原 義彦,「宮崎大学に対する市町村からの期待」「宮崎大学に対する小中高等学校,盲・聾・養護学校等からの期待」「提言:宮崎大学と地域との連携方策とその可能性」他,宮崎大学生涯学習教育研究センター『生涯学習推進における宮崎大学への期待と今後の地域との連携方策について』,21-63頁。

8 生涯教育と地域社会

II. 編 書

- ・伊藤俊夫,「通学合宿の展開」,伊藤俊夫編『学社融合』,全日本社会教育連合会,85-88頁。

IV. 雑誌論文

- ・池田秀男,「学びの道 (Learning Pathways) を創るー累積加算の評価システムの研究ー」,『生涯学習論集』第3集,安田女子大学生涯学習研究所,1-11頁。
- ・柴田彩千子,「学習支援型の市民活動の発達過程に関する研究」,『日本生涯教育学会論集』第21号,日本生涯教育学会,137-144頁。
- ・柴田彩千子,「コミュニティ形成の活動における“討論学習”の役割」,『人間研究』第36号,日本女子大学教育学科の会,69-75頁。
- ・瀬沼克彰,「地域文化の台頭と企業の役割」,『TRI-VIEW』3月号,東急総合研究所,24-30頁。
- ・瀬沼克彰,「文化,ふるさと重視の自治体行政」,『D,P ジール』冬号,余暇開発センター,9-16頁。

- ・田中美子,『『イメージ共有』を指向した生涯学習システムの構築』,『日本生涯教育学会年報』第21号,日本生涯教育学会,119-126頁。

V. 編纂書論文

- ・瀬沼克彰,「地域活性化といちよう祭のノウハウ」,いちよう祭委員会編『いちよう祭大作戦』,日本地域社会研究所,226-264頁。

VI. 調査報告

- ・伊藤俊夫,「通学合宿の展望」,『通学合宿の全国調査』,通学合宿研究会,55-58頁。

10 生涯教育と放送・通信教育

IV. 雑誌論文

- ・鈴木克夫,『『通学制』と『通信制』の区分をどうつける』,『カレッジマネジメント』第104号,リクルート,46-48頁。

V. 編纂書論文

- ・上條秀元,仲野 寛,原 義彦,「衛星通信を利用した公開講座の可能性—大学間連携による講座の実施を通じて—」,『日本生涯教育学会年報』第21号,167-182頁。
- ・西村美東士,「SCSを活用した遠隔教育のあり方」,『日本生涯教育学会論集』21号,日本生涯教育学会,21-27頁。

11 生涯教育と関連教育施設

(生涯教育センター・社会教育センター・公民館・文化センターなど諸施設論を含む)

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「法改正と公民館のこれから」,『月刊公民館』No515,全国公民館

連合会, 4-9 頁。

- ・今野雅裕, 「あらたな公民館像の構築へ」, 『月刊公民館』, (社) 全国公民館連合会, 20-22 頁。
- ・瀬沼克彰, 「地域を変える次世代型公民館」, 『生涯学習空間』No24, ボイックス, 24-28 頁。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習センターの作り方と留意点」, 『生涯学習空間』No22, ボイックス, 24-26 頁。
- ・廣瀬敏夫, 「地域と公民館・図書館・博物館」, 『社会教育』第 55 巻第 653 号, 全日本社会教育連合会, 18-22 頁。
- ・廣瀬敏夫, 「シンガポール国立図書館」, 平成 11 年度文部省補助事業報告書『ネットワーク社会の公共図書館』, 財団法人 AVCC, 56-59 頁。

V. 編纂書論文

- ・岡田純一, 「生涯学習と社会教育施設—とりわけ博物館を中心に—」, 『生涯学習と学校・社会』浦野東洋一ほか編, 八千代出版, 49-60 頁。
- ・原 義彦, 「公民館の利用形態に地域の生涯学習関連施設が及ぼす影響について」, 『日本生涯学習学会論集』21 号, 105-112 頁。
- ・原 義彦, 「公民館の利用形態の変化に対する公民館主催講座の影響分析」, 宮崎大学生涯学習教育研究センター『生涯学習研究』第 5 号, 15-27 頁。

VI. 調査報告

- ・稲生勁吾, 『国立青年の家・国立少年自然の家における障害者の生涯学習事業調査のまとめ(調査報告)』, 青山学院大学総合研究所, 1-14 頁。
- ・猿田真嗣, 『大学開放機関の「評価」システムの設計と運用』, 徳島大学大学開放実践センター, 1-37 頁。

12 学習情報・相談

I. 著書

- ・今西幸蔵, 「ネットワーク支援を求める学習情報提供・学習相談について」, 『京都文化短期大学紀要』第 31・32 合併号, 京都文化短期大学学会, 19

-36 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「情報通信を活用した生涯学習の新たな展開と可能性」,『社会教育』648号,(財)全日本社会教育連合会,6-8頁。
- ・浅井経子,「双方向で行ったエル・ネット オープンカレッジ」,『視聴覚教育』54巻5号,(財)日本視聴覚教育協会,9-11頁。
- ・高橋利行,「生涯学習支援情報の検索機能についての検討」,『日本生涯教育学会論集』21号,日本生涯教育学会,89-96頁。
- ・中村 誠,「地域の生涯学習と学習情報の提供」,『信州大学経済学論集』,信州大学経済学部,49-67頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「高度情報通信社会における生涯学習支援」,平成11年度文部省委嘱事業『「メディアを活用した生涯学習活動の促進に関する調査研究」報告書』,(財)日本視聴覚教育協会,34-38頁。

VI. 調査報告

- ・高橋利行,「成人のマルチメディア活用と学習」,『生涯各期の学習におけるマルチメディア活用に関する調査報告書』,筑波大学生涯学習学研究室,16-30頁。
- ・山本恒夫編著,『生涯各期の学習におけるマルチメディア活用に関する調査報告書』,筑波大学生涯学習学研究室,全50頁。

13 人材活用

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習とボランティア」,図書館ボランティア研究会編『図書館ボランティア』,丸善,1-27頁。

14 生涯教育と行政施策（答申・報告書等も含む）

I. 著書

- ・池木 清,『教育と教育行政の中で（第3集）』,日本橋女学館短期大学。

IV. 雑誌論文

- ・池木 清,「各都道府県教委は学校管理職への女性登用を進めているか」,『女子教育研究』第27号,日本橋女学館短期大学,1-30頁。
- ・池木 清,「公立学校教員における都道府県別男女共同参画度」,『女子教育研究』第29号,日本橋女学館短期大学,1-29頁。
- ・池田秀男,「全国生涯学習フェスティバルの成果と効用」,『社教ひろしま』No.46,広島県社会教育委員連絡協議会,2-4頁。
- ・瀬沼克彰,「ポスト余暇開発としての自由時間政策ビジョン」,『季刊スコレー』25巻4号,全国余暇行政研究協議会,8-15頁。
- ・蛭田道春,「社会教育委員の制度的潮流」,『神奈川の社会教育委員活動』平成11年度,神奈川県社会教育委員連絡協議会,17-25頁。

V. 編纂書論文

- ・池田秀男（企画者代表）,「まなびが創る新たなかけ橋～生涯学習システムの再構築～」,『まなびピア広島'99 シンポジウム報告書』,第11回全国生涯学習フェスティバル実行委員会,1-34頁。
- ・岡田純一,「大学運営のあり方についての諸見解に関する解説-昭和40年代以降の審議会答申を中心に-」,丹保憲仁編『これからの大学と大学運営』,エイデル研究所,231-238頁。
- ・瀬沼克彰,「行政と民間の連携・協力の阻害要因を探る」,東京都生涯学習センター編『生涯学習関連機関の役割分担と連携協力』,東京都生涯学習センター,91-124頁。
- ・田中雅文,「社会教育行政における連携とネットワーク」,『社会教育主事のための社会教育特講I』,国立教育会館社会教育研修所,51-63頁。

VI. 調査報告

- ・原 義彦, 「学習活動の実態と希望」, 宮崎市教育委員会『宮崎市民の生涯学習調査』, 19-57 頁。
- ・蛭田道春, 『社会教育委員に関する調査報告書データ編』, (社) 全国社会教育委員連合, 26 頁。
- ・蛭田道春, 『社会教育委員に関する調査報告書』, (社) 全国社会教育委員連合, 36-39 頁, 34, 48-50 頁。

15 生涯教育の推進事例

VI. 調査報告

- ・釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会編『標茶町との提携を中心とした釧路短期大学生涯教育年報平成10年度・平成11年度』, 釧路短期大学生涯教育センター・標茶町教育委員会, 総頁数10頁。

16 諸外国の生涯教育

IV. 雑誌論文

- ・猿田真嗣, 「ジョージア大学継続教育センターの構造と機能に関する覚書(2)」, 『徳島大学大学開放実践センター紀要』第11巻, 113-125頁。
- ・南部広孝, 「中国における生涯学習支援システムとしての高等教育独学試験制度」, 『日本生涯教育学会年報』第21号, 日本生涯教育学会, 185-196頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己, 「成人教育プログラム計画におけるニーズ評価」, 現代アメリカ教育研究会編『学習者のニーズに対応するアメリカの挑戦』, 教育開発研究所, 241-270頁。
- ・金子忠史, 「青少年の進路指導の一考察-アメリカの技術予備教育(Tech-Prep)の展開を中心に」, 『日本生涯教育学会論集』21号, 日本生涯教育学会, 81-88頁。
- ・金子忠史, 「子どもの危機への対応: 学校と地域社会との連携」, 日本比較教

育学会『比較教育学研究』第26号, 東信堂, 76-87頁。

- ・金子忠史, 「技術予備教育 (Tech-Prep) の構想, 特色, 現状と課題」, 現代アメリカ教育研究会編『学習者のニーズに対応するアメリカの挑戦』, 教育開発研究所, 77-102頁。

VI. 調査報告

- ・猿田真嗣, 『米国における宿泊型継続教育センターに関する研究』, 平成10～11年度文部省科研費 (奨励研究(A)) 報告書, 1-58頁。

17 その他

II. 編書

- ・今野雅裕, 『新しいPTA活動の取り組み PTA実践事例集(15)』, (社)日本PTA全国協議会

IV. 雑誌論文

- ・赤尾勝己, 「教育と国家の関係性についての一考察」, 『関西大学文学論集』第50巻第1号, 関西大学, 125-145頁。
- ・田中雅文, 「ビオトープと社会教育」, 『社会教育』vol.55-7, (財)全日本社会教育連合会, 21-23頁。
- ・根木 昭, 「文化会館の活性化に向けて」, 『文化庁月報』No.384 (2000年9月号), ぎょうせい, 4-5頁。
- ・根木 昭, 「『文化政策学』体系化の視点」, 『文化庁月報』No.379 (2000年4月号), ぎょうせい, 7-8頁。
- ・根木 昭, 「学級崩壊と早期専門教育」, 『高校教育展望』第25巻第1号 (2000年4月号), 小学館, 100-103頁。
- ・根木 昭, 「情報と文化」, 『エル・ネット・オープンカレッジ「情報社会を読み解く12講」』, 高等教育情報化推進協議会, 41-44頁。
- ・堀井啓幸, 「最新カタカナ教育用語集」, 『最新教育基本用語2000年版』, 小学館, 467-482頁。